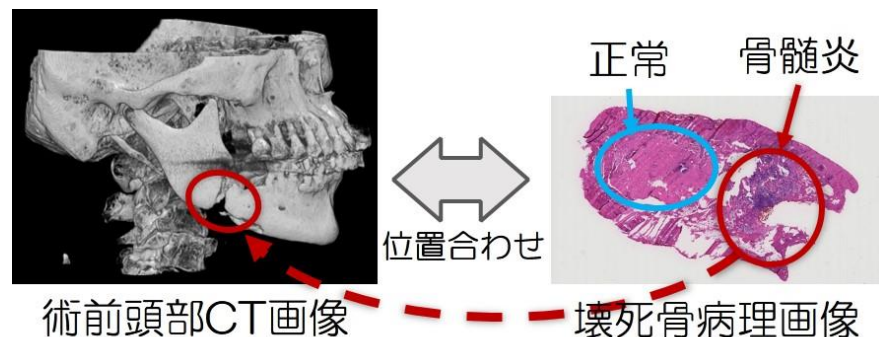


人工知能を用いたRadiomics解析に基づく顎骨骨髓炎診断法の構築

- 術前頭部CT・壊死顎骨CT・病理画像間の画像位置合わせにより、病理画像上での診断結果から術前頭部CT画像へアノテーションを付与.
- 異常検知を用いて骨髓炎か正常な骨かを判定することで骨髓炎発症範囲を推定.



POINT

位置合わせや異常検知は、画像以外の様々なものに応用可能な技術です。

講師紹介

三重大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 助教 盛田 健人 氏

2019年3月 兵庫県立大学大学院工学研究科博士後期課程を修了。2017年4月～2019年3月は日本学術振興会特別研究員，2019年4月より三重大学大学院工学研究科・助教となり現在に至る。主に医用画像処理・人工知能を用いたコンピュータ支援診断システムに関する研究に従事。日本医用画像工学会，人工知能学会，日本臨床バイオメカニクス学会，システム制御情報学会，IEEEの会員。

